

# 主体的に問題解決しようとする児童が育つ社会科学習

令和5年度 名古屋市教育研究員研究計画書 6番

名古屋市立天子田小学校教諭 永 瀬 智 仁

## I 研究のねらい

私は、主体的に問題解決しようとする児童を育てたい。私が考える主体的に問題解決しようとする児童とは、社会的事象について、根拠を伴った予想を基に見通しをもって学習を進める中で、学習を振り返ることを通して学習の進め方や問題に対する考えを自ら調整しながら、問題解決に向かうことができる児童である。

令和3年に出された『令和の日本型学校教育』の構築を目指して（答申）」では、「9年間を見通した新時代の義務教育の在り方について」の中で、「学習の目標や教材について理解し、計画を立て、見通しをもって学習し、その過程や達成状況を評価して次につなげるなど、学習の進め方を自ら調整していくこと」と述べられており、児童が見通しをもって学習を進めることや、自らの学習を調整しながら学ぶことが重要視されていることが分かる。また、国立教育政策研究所教育課程研究センターは、『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料小学校編社会の中で、主体的に学習に取り組む態度の評価について、「社会的事象について、予想や学習計画を立て、学習を振り返ったり見直したりして、学習問題を追究・解決しようとしているか」と示し、社会科学習においても、児童が予想を基に見通しをもって学習を進めることや、その中で学習を振り返って自らの学習を調整することが重要であると述べている。

現代の社会では、グローバル化や技術革新等により、社会構造は大きく、急速に変化しており、予測困難な時代となっている。主体的に問題解決しようとする児童を育てることは、変化する社会の中で生まれる新たな課題に対して、試行錯誤を繰り返しながら解決方法を考えて乗り越えようとする、よりよい社会の形成者としての資質・能力の育成につながると考える。

## II 研究の方法

1 研究の対象 名古屋市立天子田小学校 第5学年 23人

### 2 基本的な考え

兵庫教育大学名誉教授の米田豊氏は、著書の中で、『主体的に学習に取り組む態度』は、子どもの思考や認識内容とともに育てることが重要である。つまり、当て推量の予想のみでは、子どもが主体的に学習に取り組んでいるかを評価することはできない。主体的に学習に取り組んでいると評価できるのは、予想を『仮説』へと高めている姿である」と述べている。米田氏の示す『仮説』とは、「学習課題の解を既習知識や対話により獲得した内容を活用し、それらを根拠として示すこと」であるとしている。

そこで、私は、学習問題に対する予想を根拠の伴った仮説へと高め、仮説の検証に向けて個々で学習を進めることで、目指す児童の姿に迫ることができると考えた。児童が仮説を立てることで、仮説の検証に向けて調べる内容や方法などが児童の中で明確になり、学習問題の解決に向けた見通しをもつことができると考える。また、仮説の検証に向けて学習を進める中で自らの学習を振り返ることで、次の学習の見通しをもち、学習を調整しながら問題解決に向かうことができると考える。

以上のことから、社会科の基本的な学習過程「つかむ」「調べる」「まとめる」段階の中に、次のような工夫を取り入れて実践を進めることにした。

(1) 「つかむ」段階（学習問題に対する仮説を設定し、学習の見通しをもつ）

本実践では、探究学習・協働学習システムとして「ロイロノート・スクール」を用いる。

単元を通して解決を目指す学習問題を設定した後に、ロイロノート・スクールで「わたしの予想！シート」【資料1】を作成する。まず、本単元と関連する既習単元の資料を貼り付け、提示された本単元の資料と比較することで、共通点や相違点を考え、記述する。次に、見つけた共通点や相違点を手掛かりに、根拠を伴った予想（仮説）を考え、記述する。

**わたしの予想！シート**

学習問題

【他の単元の資料】

【この単元】

① 本単元と関連する既習単元の資料を貼り付ける。

② 本単元との共通点や相違点について記述する。

③ 見つけた共通点や相違点を手掛かりに、根拠を伴った予想（仮説）を考え、記述する。

④ 出された仮説を検証するための調べる内容や方法を記述する。

わたしの予想！

わたしの予想！を確かめるための、調べる

【資料1 「わたしの予想！シート」】

さらに、考えた仮説を出し合い、出された仮説を似ているもの同士に分類することで、追究していく視点を見いだす。そして、出された仮説を検証するためには、どのようなことを調べればよいか、どのような手段が有効かについて考える。最後に、仮説を検証するための学習計画を個々で考え、調べる内容や方法を記述する。

(2) 「調べる」段階（学習を振り返り、自らの学習を調整する）

作成した「わたしの予想！シート」を基に、仮説を検証するための学習計画表

【資料2】を作成する。まず、「調べる予想」の欄に、作成した「わたしの予想！シート」を貼り付ける。そして、仮説の検証に向けて個々で調べていく。調べて分かったことは、学習計画表の中の、「検証結果」の欄にまとめていく。各授業の終末には、自らの学習を振り返り、仮説を検証することができたかについて、「で

学習計画表

【検証結果】調べて分かったことをまとめる。

【次の時間に向けて】検証を目指す仮説を変更するかどうか、調べる内容や方法はどうかについて記述する。

【調べる予想】作成した「わたしの予想！シート」を貼り付ける。

【学習を振り返って】仮説を検証することができたかについて自己評価し、評価の理由を記述する。

学習問題に対する考え

【資料2 学習計画表】

きた」「まだ途中」「できなかった」の3段階で自己評価し、評価の理由を「学習を振り返って」の欄に記述する。その後、検証を目指す仮説を変更するかどうか、調べる内容や方法はどうかなど、次時の学習について考え、「次の学習に向けて」の欄に記述する。このような活動を繰り返し行うことで、学習を調整しながら問題解決に向かうことができるようにする。

(3) 「まとめる」段階（調べたことを共有し、学習問題に対する考えをまとめる）

「調べる」段階で個々で追究した仮説の検証結果を発表し合い、学習計画表の「学習問題に対する考え」の欄にまとめる。そして、単元を通しての学習の成果や課題を振り返り、これからの学習に生かしていくことができるようにする。

3 「水産業のさかんな地域」「自動車をつくる工業」における学習展開

単元	「水産業のさかんな地域」(7時間)	「自動車をつくる産業」(7時間)
目 標	我が国の水産業について、目的によって異なる漁法が行われたり、輸送方法や販売方法を工夫したりして良質な食料を届けるなど、食料生産を支えていることを理解し、これからの水産業の在り方について考えようとする。また、生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などに着目して仮説を立て、自らの学習を調整しながら調べ、水産業に関わる人々の工夫や努力を関連付けて、食料生産を支える働きを考え、適切に表現している。	自動車生産に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう様々な工夫や努力をして、自動車生産を支えていることを理解している。また、我が国の自動車生産について、製造の工程、工場相互の協力関係、優れた技術などに着目して仮説を立て、自らの学習を調整しながら調べ、その働きを考え、適切に表現している。
段階	主な学習活動	
つか む	<p>① 資料を基に日本の水産業についての疑問を出し合い、学習問題をつくる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><b>【学習問題】</b> 日本の水産業が、消費者のニーズにこたえられているのはなぜだろう。</p> </div> <p>② 「わたしの予想!シート」を作成し、学習問題に対する仮説を立て、仮説を検証するための学習計画を立てる。【検証場面1】</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><b>【視点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 魚をとる方法    ・ 養殖・栽培漁業</li> <li>・ 消費者に届けるための工夫</li> <li>・ 水産加工</li> </ul> </div>	<p>① 資料を基に日本の自動車生産についての疑問を出し合い、学習問題をつくる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><b>【学習問題】</b> 日本の自動車産業が、優れた自動車を世界中の消費者に大量に提供できているのはなぜだろう。</p> </div> <p>② 「わたしの予想!シート」を作成し、学習問題に対する仮説を立て、仮説を検証するための学習計画を立てる。【検証場面1】</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><b>【視点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 組み立てライン    ・ 関連工場</li> <li>・ 現地生産    ・ 自動車開発</li> </ul> </div>
調 べる	<p>③④⑤</p> <p>作成した学習計画表を基に、仮説の検証に向けて個々で調べていく。各授業の終末には、自らの学習を振り返り、仮説を検証することができたかについて自己評価する。その後、次時の学習について考え、学習計画表に記述する。【検証場面2】</p>	<p>③④⑤</p> <p>作成した学習計画表を基に、仮説の検証に向けて個々で調べていく。各授業の終末には、自らの学習を振り返り、仮説を検証することができたかについて自己評価する。その後、次時の学習について考え、学習計画表に記述する。【検証場面2】</p>
ま と め る	<p>⑥ 仮説の検証結果を発表し合い、学習問題やこれからの水産業の在り方について、自分の考えをまとめる。</p> <p>⑦ 単元を通しての学習の成果や課題を振り返り、これからの学習に生かしていくことをまとめる。</p>	<p>⑥ 仮説の検証結果を発表し合い、学習問題やこれからの自動車産業の在り方について自分の考えをまとめる。</p> <p>⑦ 単元を通しての学習の成果や課題を振り返り、これからの学習に生かしていくことをまとめる。</p>

#### 4 児童の実態調査

単元「米づくりのさかんな地域」の「つかむ」段階において、学習問題に対して根拠を伴った予想（仮説）を立てることができているか、学習プリントへの記述内容から調査する。また、「調べる」段階において、自らの学習状況を把握し、次の学習の見通しをもち、学習を調整しながら問題解決に向かうことができているか、学習計画表の記述内容から調査する。

#### 5 授業研究を通して明らかにしたいこと

- (1) 「つかむ」段階において、「わたしの予想！シート」を作成することは、学習問題に対する仮説を立て、仮説を検証するための学習の見通しをもつ上で有効か、「わたしの予想！シート」の記述内容からつかむ。
- (2) 「調べる」段階において、各授業の終末に自らの学習を振り返り、仮説を検証することができたかについて自己評価することは、自らの学習状況を把握し、次の学習の見通しをもち、学習を調整しながら問題解決に向かう上で有効か、学習計画表の記述内容からつかむ。

### Ⅲ 年間の研究計画

月	研究・調査・授業研究等
4	○ 研究主題の基本的な考え方を基に研究の方向性を定め、研究計画書を作成する。
5	○ 実態調査を行う。 ○ 第1次授業研究の授業計画書を作成し、検討する。 ○ 長期研修の日程を作成する。
6	○ 第1次授業研究実践単元「水産業のさかんな地域」 【検証点1】 「つかむ」段階において、「わたしの予想！シート」を作成することは、学習問題に対する仮説を立て、仮説を検証するための学習の見通しをもつ上で有効か、「わたしの予想！シート」の記述内容からつかむ。 【検証点2】 「調べる」段階において、各授業の終末に自らの学習を振り返り、仮説を検証することができたかについて自己評価することは、自らの学習状況を把握し、次の学習の見通しをもち、学習を調整しながら問題解決に向かう上で有効か、学習計画表の記述内容からつかむ。
7	○ 第1次授業研究を分析し、基本的な考え方を修正する。 ○ 中間のまとめを作成し、今後の研究の方向性を明らかにする。
8	○ 長期研修（A日程）先進研究者を訪問し、研究を深める。 （訪問予定先） ・大学入試センター 山地 弘起氏 ・福井市元教員 吉田 高志氏 ○ 第2次授業研究の授業計画案を作成し、検討する。
9	○ 第2次授業研究実践単元「自動車をつくる産業」
10	長期研修で学んだことを基に授業改善し、【検証点1】【検証点2】を検証する。
11	○ 第1・2次授業研究の成果や課題、長期研修の成果や今後の研究の課題などを明らかにし、
12	最終のまとめを作成する。
1	○ 「主体的に問題解決しようとする児童が育つ社会科学習」について1年間の成果や課題を
2	まとめ、発表する。

参考・引用文献 米田豊『「主体的に学習に取り組む態度」を育てる社会科授業づくりと評価』明治図書（2021）